

2019年3月6日

第1回「不動産エバリュエーション専門士」認定コース始まる！

推進センターは、昨秋、不動産コンサルティングマスターが更なる知識・技能向上を目指す方に向けた資格となる専門士制度の変更をいたしました。

(旧)不動産有効活用専門士から進化した「不動産エバリュエーション専門士」の認定コース4日間のうち、1～3日目となる過程を3月4日(月)～6日(水)に実施しています。今回の受講者は45名です。

「不動産エバリュエーション専門士」は、「土地」と「建物」についての深い造詣を基に対象不動産の真の価値を見極めて、有効活用・バリューアップを実現することを目指す資格です。これまでの不動産有効活用専門士に求められていたものに加え、「土地」および「建物」のいわゆる“目利き”の能力を求めるもので、より高度で総合的な能力を兼ね備えた資格として位置付けています。

同認定コースは、上記3日間に加え、修了試験の合格者のみ、4日目に土地・建物の価値を明示した提案書である「評価書」に関する講義と具体的な作成(ワーキング)を実施することとしています。4日目まで受講した方を「不動産エバリュエーション専門士」として認定いたします。最終4日目は、3月26日(火)を予定しています。

◆カリキュラム

【1日目】

- § 1 不動産エバリュエーション専門士とは
- § 2 建物エバリュエーション総論
- § 3 土地エバリュエーション
- § 4 土地の最大有効活用を考える

【2日目】

- § 5 地盤調査の重要性
- § 6 投資判断の手法
- § 7 個人ワーキング(問題解決案の立案、収支計画の作成など)
- § 8 収支計画案の解説
- § 9 不動産エバリュエーションと地域貢献

【3日目】

- § 10 不動産エバリュエーション専門士の役割
- § 11 グループ討議(不動産エバリュエーションの企画立案)

§ 12 プレゼンテーション

§ 13 プレゼンテーションの結果発表と講評

修了試験

【4日目】…3月26日（火）

§ 1 不動産エバリュエーション専門士が作成する「評価書」とは

§ 2 ケーススタディ 「評価書」の具体的な作成（ワーキング）

§ 3 講評

◆講師

塩見 哲氏（ダンコンサルティング(株)代表取締役）

内山 博文氏（u.company(株)代表取締役・Japan.asset management(株)代表取締役 CEO・
一般社団法人リノベーション協議会会長）

石垣 雄一郎氏（ダンコンサルティング(株)）

中谷 龍海氏（アーキテナー級建築士事務所）

藤澤 雅義氏（(株)アートアベニュー代表取締役・
オーナーズエージェント(株)代表取締役）

中城 康彦氏（明海大学不動産学部長（教授））

以上